

茗荷のちから・

—茗学校—



「みょうがを食 勿忘れする？」

周利槃特(しゅりはんどく)お釈迦様の弟子

茗荷(高知県)

- ・作付面積106ha
(東京ドーム約23個分)
- ・収穫量4,901トン(2014年)
- ・全国の約87%を占め

高知県が**1位**

1位の理由

みょうが

- ・湿った土を好む
- ・適正温度 15℃～20℃
- ・電照による花芽(ビニールハウスなど)

高知県(収穫量1位)

<u>気候</u>	太平洋側
<u>平均気温</u>	16.9度
<u>降水量</u>	3,659mm(1位)
<u>農業</u>	促成栽培

秋田県(収穫量2位)

<u>気候</u>	日本海側
<u>平均気温</u>	11.7度
<u>降水量</u>	1,738mm
<u>農業</u>	水田を活用



好条件がそろっている

茗荷をアロマに

ミョウガには独特の強い匂いがあり
薬味として、よく活用されている



**独特な香りを活用し
生産量をUP！**



茗荷の効果

αピネンという香り成分が含まれている。

効果：森林浴効果、強壮作用、血行促進
うっ滞除去作用、抗菌作用、免疫向上作用

ヒノキ(αピネン50%)にはない効果

ビタミンCとカリウム

効果：発汗作用、解熱作用、解毒作用

アロマとは

心身のトラブルを穏やかに回復し、健康や美容に役立てていくために、植物から抽出した香り成分である精油(エッセンシャルオイル)を生成したものである。

精油

精油を抽出するために、**大量のミョウガ**が必要。
地元農家のみではなく、自分たちでも栽培する。

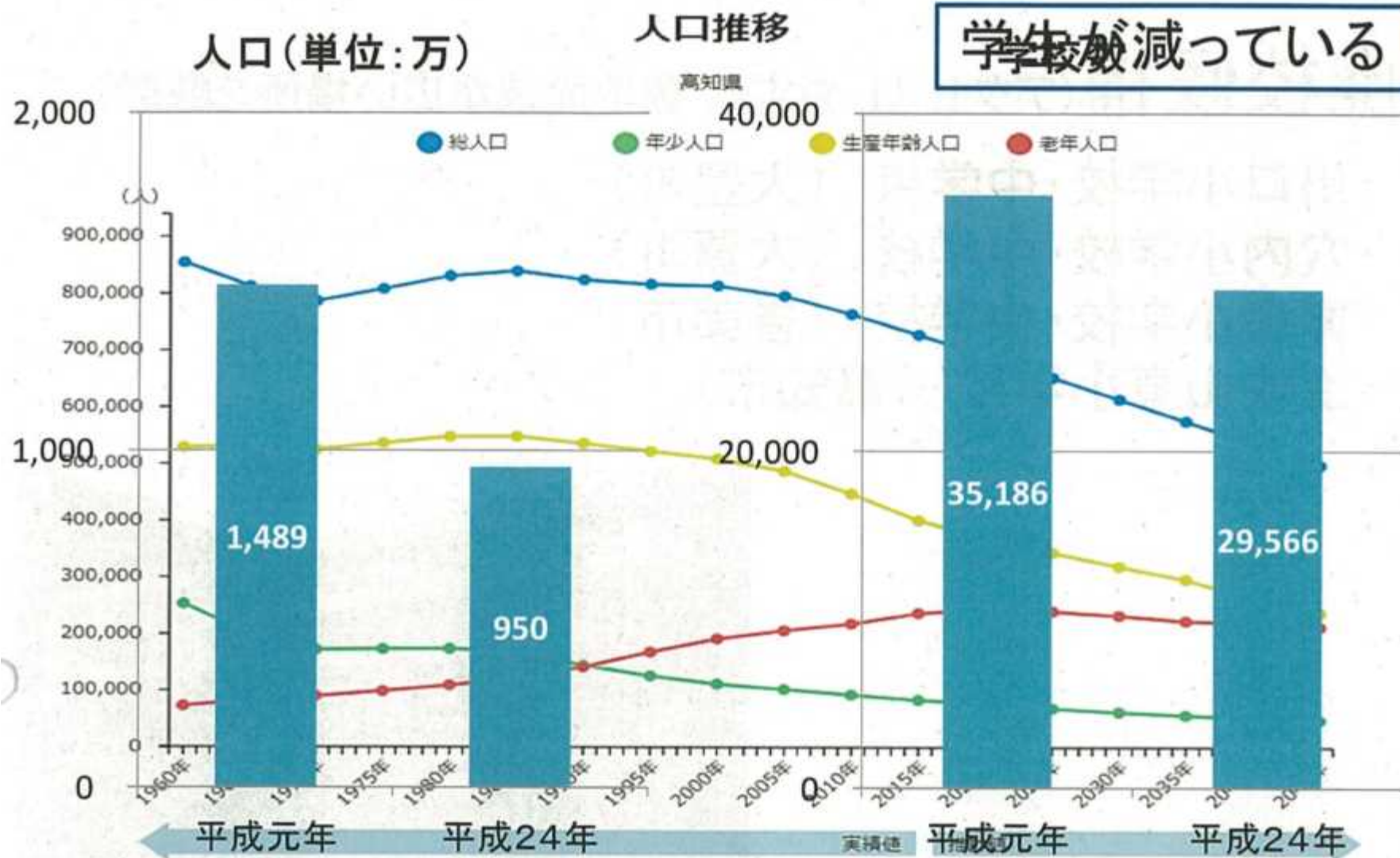
例)精油1kgに対し、ラベンダー100~200k、ローズ3~5トン必要



敷地面積が広く
利用されていない
施設を活用する

人口 全国公立小中学校児童数・学校数

学校数減っている



廃校（高知）

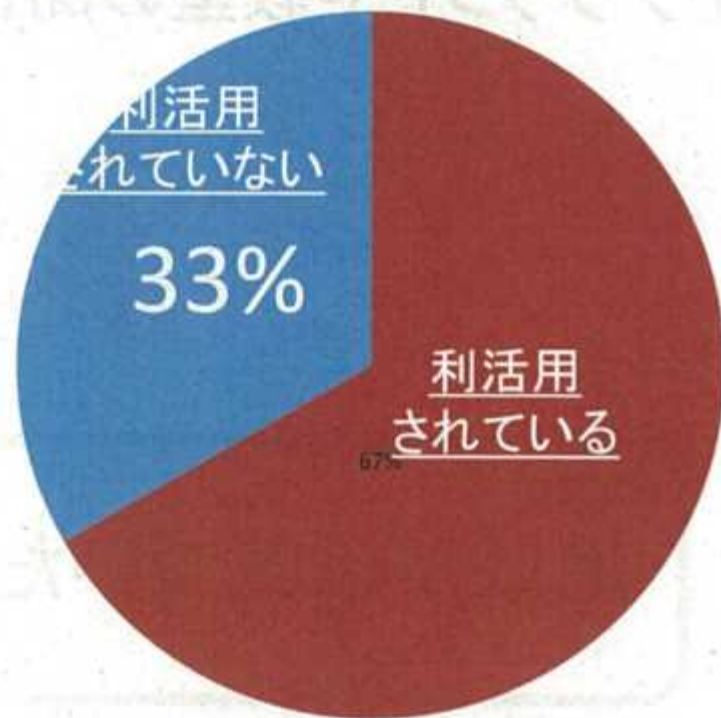
廃校数**123校**（34市町村） 出典：高知新聞

地域の実情や需要に応じて利活用されている
例）集会所、シェアオフィス、コールセンター

交流人口拡大に貢献

- ・海洋堂ホビー館四万十
- ・室戸廃校水族館
- ・大田口テラス
- ・汗見川ふれあいの郷 清流館

県内小中学校廃校の
利活用状況



廃校

廃校候補 (アクセスしやすく、敷地面積が広い場所を厳選)

- ・川口小学校・中学校 (大豊町)
- ・穴内小学校・中学校 (大豊町)
- ・繁藤小学校・中学校 (香美市)
- ・土佐山東小学校 (高知市)



廃校を活用するメリット

- ①既存物件を使用できるため初期費用が安価
- ②「廃校利用」という話題性による高い宣伝効果
- ③地域の人々が愛着ある施設を使うことで地域密着が可能
- ④グラウンドや教室の間仕切りなど使い勝手の良い空間

出典:文科省

活用されている校舎は地域の
新しい“核”として機能している

地域の人

地域が活気づいたよ

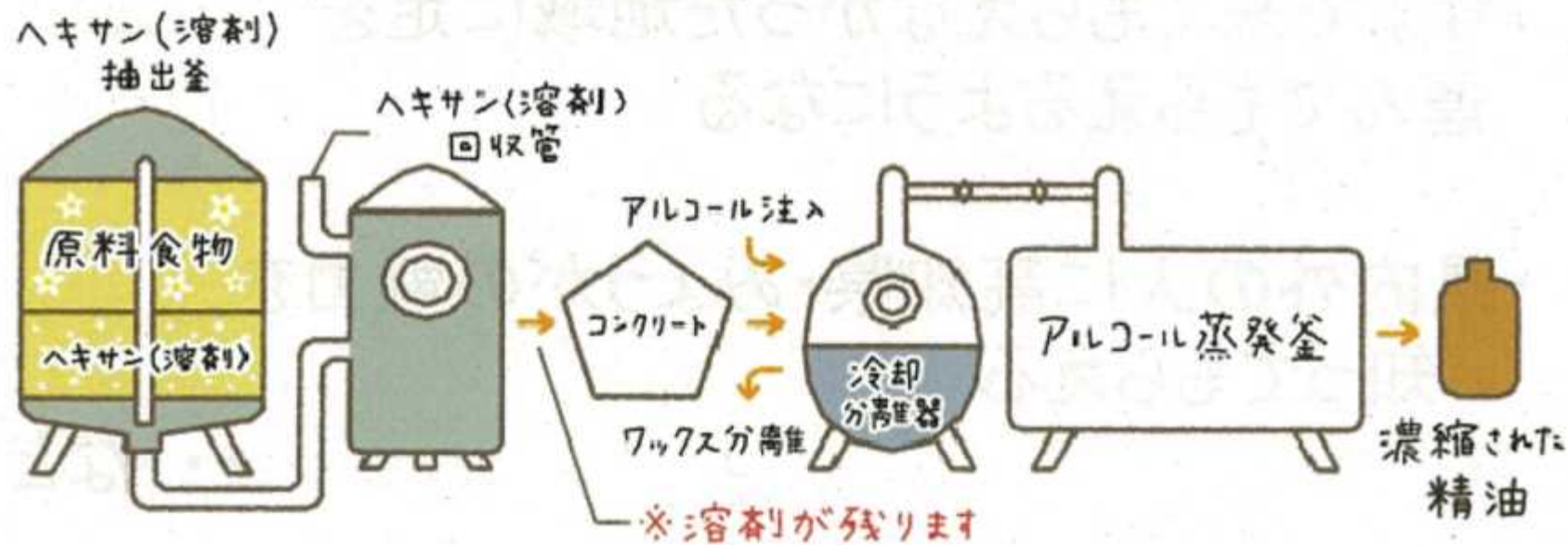


出典:高知新聞

みょうがアロマの製造方法

溶剤抽出法

(一般的な抽出法)



みょうがアロマの販売

- ・販売方法

- ・廃校での販売
- ・インターネット販売
- ・道の駅や地元スーパー



観光地化

- ・運営・管理経費を確保できる
- ・今まで来てもらえなかった地域に足を運んでもらえるようになる
- ・県内外の人に高知県・みょうがの魅力を
知ってもらえる



・・・など

観光地化

① みょうがの展示

- 例)・プールで栽培
・育成過程の展示
・若者や女性に向けておしゃれに展示



観光地化

② イベント

- 例)・みょうが主役のお祭り
・育成体験
・アロマ調合体験



観光地化

③ 食

- 例)・みょうがの料理体験
・地域の特産品やみょうがを使用した料理の販売
・アロマを使用したドリンク



茗荷の力で・・・

みょうがのアロマによって

高知県内外に

心身共に健康的な人が増えると

これまで以上に

高知県や高知県の特産品を

誇らしく思える人が増えるのでは!!?

高知県を元気にするために・・・

- ①茗荷(ミョウガ)の消費・生産量を増加させる
- ②廃校になった建築物に賑わいを生む

